



第2740地区 創立/1990年9月29日 認証/1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：馬場 貴博 / 副会長：宮崎 正典 / 幹事：片桐 康利



2023～2024 年度クラブスローガン

はがんいっしょう

「破顔一笑」

みんなで語り合えるクラブになるために

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：山口 裕之、川上 仁哉、西村 浩輝、古川 直記、四元 清安、田中 啓輔、倉科 聡一郎、藤井 寿人

本日の出席率91.11%：会員数53名・出席35名・欠席3名・出席規定免除会員7名・ビジター0名
前々回の修正出席率88.37%：出席31名・メークアップ2名・出席規定免除会員12名

会長挨拶 / 馬場 貴博君



皆様こんにちは、3月最後の例会となりました。

本日は2740地区第5グループガバナー補佐 井上正人様のご厚意により佐世保魚市場株式会社様の職場訪問例会となりました。先日のIM開催の際にはお世話になりました。昨年西ロー

ターリークラブにメークアップに2回ほどお邪魔させていただきました。井上会長年度でした。その時には必ず魚にまつわる話を会長挨拶に盛り込まれ話をされており、流石、魚のプロだなと感じ入っておりました。因みに長崎県の漁獲高は全国2位で佐世保市は全国4位だそうです。又佐世保市で水揚げされる魚種は300を超えるそうです。近年では鱻の養殖に成功されブランド鱻「花美鱻」として米国にも輸出されているそうです。私の一夜漬けの話はこれぐらいにしておきます。

また明日の夜は佐世保公園でのお花見となっています。夜はまだ肌寒いので暖かくしておいでください。

それでは最後に、今日は食事にアジフライが出されるそうで楽しみにしてきました。井上ガバナー補佐お世話になります。

RePort 幹事報告 / 片桐 康利君

1. 例会変更・休会

* 佐世保東ロータリークラブ

4月4日(木) 12:30～早苗町尾崎公園
※観桜家族会のため

* 佐世保北ロータリークラブ

休会 4月29日(月)

(^_^) ニコニコボックス

馬場 貴博会長・宮崎 正典副会長・片桐 康利幹事

本日の例会プログラムは、職業奉仕委員会担当の職場訪問例会です。佐世保魚市場株式会社様のご協力により実現することが出来ました。佐世保西RC・井上正人ガバナー補佐ありがとうございます。

別会場での例会ということで、新鮮な気持ちと少し緊張もしておりますが、学びの多い例会になればと思います。馬渡委員長をはじめメンバーの皆様、どうぞよろしくお願い致します。

八重野一洋君

私の地元相浦へようこそ！アジフライ、お刺身、美味しくいただきました。井上社長ありがとうございます。

香月 章彦君

先日の対抗戦、霧と雨の中、有志だけで九十九にてプレーをしたおかげで？くじで優勝を頂くことができました。ありがとうございました。

吉野 英樹君

ごはんおかわり代ニコニコします。

筒井 琢磨君

おいしい昼食ありがとうございました。久しぶりにご飯をおかわりしてしまいました。

馬渡 圭一君

職業奉仕委員会委員長の馬渡です。本日は足元の悪い中、皆様、職場訪問例会にお集まりいただきましてありがとうございました。会場と食事をご提供いただいた井上ガバナー補佐をはじめ佐世保魚市場様にも感謝いたします。アジフライもおいしく堪能できましたので、あとは魚が見学できることを願ひましてニコニコいたします。

本日の合計	7,000 円
本年度の累計	918,500 円



本日の卓話

佐世保魚市場 株式会社 代表取締役 井上 正人様



みなさんこんにちは。職場訪問例会に当佐世保水産市場を選択していただきましてありがとうございます。心より歓迎致します。

また、先のIM開催におきましては、全員登録の上多数のご参加を賜りました。この場をお借りしてお礼申し上げます。本日、せっかくの機会でもありますので、当市場の仕組みなど説明させていただきます。

当市場は、県知事の認可で佐世保市が開設者です。弊社の設立は、大正9年1920年11月、今年で創業104年目となります。当時はバブル絶頂期でありこの市場棟全体が海に浮かぶ船をモチーフにしておりまた、せり場の上に事務所を作る、昔ながらの市場建築のスタイルであり、上屋の重量を支えるために多くの資材を使っております。正直使い勝手は悪いです。建設費は230億円。九州で一番新しい水産市場でしたが、今では一番古くなりました。

卸会社は弊社一社。仲卸会社は横浜、鳥取、福岡、佐賀、松浦地元で合計24社、鮮魚店は市内、有田、嬉野、伊万里、東彼杵から仕入れにいられており、約115社で卸が水産物を集め仲卸、鮮魚商に販売をしています。その他、運送会社、水産荷役会社、魚箱販売会社、冷凍冷蔵庫、船舶、トラックの燃料、製氷会社など多くの業者でこの市場は成り立っております。

生産者は佐世保市はもとより対馬から唐津、平戸、五島男女群島沖で操業して漁獲されたものを出荷しています。出荷者の制限はありませんので、魚好きの会員の皆様でも出荷可能です。朝3時から夜9時まで受け付けておりますので、是非出荷してください。

当市場で水揚げされた水産物は、約3割が市内、近郊で消費、残り4割が関東、関西の消費地へ3割が加工原料、養殖魚の餌料、海外への輸出に回されます。弊社の収益は水産物の売上金額の5パーセントを販売手数料として生産者の皆様から頂き、それで会社を運営。この市場全体を佐世保市に設置していただいて営業しております。当然、佐世保市に対して市場使用料と売上高に応じた使用料を支払っています。

近年、沿岸海域での漁獲量が減少しており、沿岸物を主体に販売している弊社にとっては厳しい状況となっています。

ただ、アジ、サバ、イワシなどの回遊漁は漁獲増となっており、全体の水揚げ数量は伸びております。今朝もアジ、サバ、イワシで200トンの水揚げとなっております。今日の取扱高は全体で約30,000千円です。今日は魚市場視察であり、タイ、サバ、太刀魚などの刺身を切らせておりますので、ご賞味ください。よかつたら市内の店舗でお買い求めいただけます。



SAA：稲次 賢一君
次回例会4月4日12：30～